

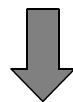
指導事項「生活の課題と実践」は、３事項から１又は２事項を選択するとあるが、どのように決めればよいか。

- 「生活の課題と実践」は、生活の中から生徒が課題を見つけ、計画を立て、実践、評価、改善を行うという問題解決的な学習を大切にしている。その視点から捉えると、生徒の主体性を尊重することが大切であり、中学校学習指導要領解説には、「３学年間を見通した全体的な指導計画を作成する中で、生徒が学習事項を選択できるようにすることが望ましい」としている。

※ 「生活の課題と実践」の事項

A 家族・家庭と子どもの成長 (3) 幼児の生活と家族 エ 家族又は幼児の生活についての課題と実践
B 食生活と自立 (3) 日常食の調理と地域の食文化 ウ 食生活についての課題と実践
C 衣生活・住生活と自立 (3) 衣生活、住生活などの生活の工夫 イ 衣生活又は住生活についての課題と実践

※ 例 「古くなった家族の衣服をリフォームして活用させるには、どうしたらよいか。」



衣服の柄や形の良い部分を生かし、パッチワークにしてカバーにする。
(カバーの大きさは、用途に応じて計画する。)